



「ABC運動で東方中学校が明るく、元気印」

～小林市立東方中学校 生徒会長 森川響也～



【写真】秋まつりで披露した伝統芸能の東方輪太鼓。

東 方中学校は全校生徒67名で、学校はもちろん地域に根ざした「ABC運動」を展開しています。Aは、毎朝行うあいさつ運動。Bは、毎朝中学校内や熊野神社などで清掃作業をするボランティア活動。Cは、コミュニケーションとして授業での発表、生徒集会、高齢者の方々の交流で会話することで絆を深めるための活動です。その活動例として、毎年12月24日に東方在住一人暮らしのお年寄りの方に生徒が種から育てたビオラとキンギョソウをプレゼントしています。嬉しそうに顔をなびつくりした顔をされる方、涙をながして感謝される方などさまざまです。この活動を続けて5年目になりま

すが、私たちも会話を通してとても温かい気持ちになり寒さも気にならなくなりました。今後も続けていきたいと考えています。

そして、伝統芸能として東方輪太鼓があり保護者や地域に見守られながら活動が続いています。毎年5月から輪太鼓の練習が始まり、東方大運動会や陰陽石まつり、こぼやし秋まつりなどで発表しています。鉦や太鼓の音を聞くと全校生徒の気持ちが一つになり見ている方が感動するようになると暑い中頑張って練習しています。昨年は、口蹄疫の関係で輪太鼓を踊る日程がずれたりしてとても大変でしたが、小林市はもとより宮崎県全体が活気づくように踊りました。

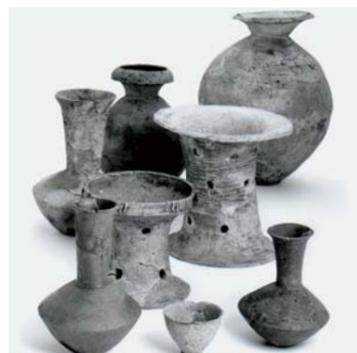
この他にも生徒会では、2ヶ月に1回学校内外の大掃除を行ったり陽光の里（老人ホーム）に花を届けたりしています。地道な活動ですが、「環境は人を作り（しかし）その環境は自分たちで作る」ということを合い言葉としてやっています。これからも明るく元気な学校作り全校生徒全員で取り組んでいきます。



「大萩遺跡」

～弥生時代の土壌墓群～

Vol.35



大萩遺跡から出土した土器
（写真提供：宮崎県立西都原考古博物館）

大 萩遺跡は、国道268号線沿いの野尻町三ヶ野山西柿川内のシラスを基盤とする河岸段丘上に所在しています。昭和48年（1973年）から始まった特殊農地保全整備事業に伴い、畑地に弥生式土器片の散布が見られたため、宮崎県教育委員会が緊急発掘調査を実施。

その結果、弥生時代の土壌墓群（全19基）が発見され、この地域の歴史解明につながる大発見となりました。

特に、4号土壌墓からは副葬品として、鮮やかな水色

をしたガラス製の小玉580個、5号土壌墓からは貝輪、6号土壌墓からはガラス製小玉60個が出土。この3つの土壌墓に葬られたのはこの地域の人々の中で、首長的な人々であった可能性が推測されます。また、4号・5号土壌墓の直上からは埋葬後に捧げられた供献土器と思われる長頸壺や高坏、器台などが重なりあうように発見され、当時の埋葬儀礼の一端を明らかにする遺跡として注目を浴びました。

さらに、昭和50年には宮崎県教育委員会が大萩遺跡第3次発掘調査を実施すると、土壌墓群と同時期の竪穴式の住居跡が発見され、弥生時代にこの地域に生きた人々の生活の様子と死の状況を、同時に垣間見ることのできる、大変貴重な遺跡発見となったのです。

※土壌墓：土を掘って穴をつくり、その中に人の遺体を納めた遺構

※副葬品：死者を埋葬する際に、共に埋葬される器物

※貝輪：貝で作られた腕輪



寒さに負けず元気いっぱい スポーツ少年団の集い

～ロードレース・駅伝結果～



第 29回小林市スポーツ少年団の集い（後援：九州電力株式会社）が1月16日、市総合運動公園で行われました。市内各地のスポーツ少年団員約450人が参加。寒波が押し寄せ、冷たい風が吹く中でも、日ごろ鍛えた体力と健脚を元気に競いました。【以下結果・優勝のみ・敬称略】

◆トラックロードレースの部・男子▼一年：深草泰音（永久津野球）▼二年：宮内宏綺（小林ジュニアアスリート）▼三年：山之口健人（東方野球）▼四年：山崎成達（西小



林サツカー）▼五年：谷之木啓輔（細野野球）▼六年：山下魁（西小サツカー）

◆トラックロードレースの部・女子▼一年：川野雅鈴（野尻クラブ）▼二年：宮城鈴（小林ハンドボール）▼三年：実山晴音（小林ミニバスケット）▼四年：森高未玲愛（永久津少女バレー）▼五年：福田瑚雪（細野少女バレー）▼六年：谷川愛（小林太陽）

◆駅伝競技の部・男子優勝：小林ジュニアアスリートクラブA ◆同・女子優勝：小林ジュニアアスリートクラブ



国際交流「ブライアンの一筆啓上」 Famous New Zealand Sports People (ニュージーランドの有名人) Vol.44



皆 さん、こんにちは。皆さんはニュージーランドの「オールブラックス」が世界一のラグビー・チームだと聞いたことがあると思います。しかし、ニュージーランド人で世界一になったことがある人は他にもいっぱいいます。ゴルフのボブ・チャールズ、男子ソフトボール・チームやヨットのアメリカスカップでもチーム・ニュージーランドが世界チャンピオンになったことがあります。そしてラグビーリーグのウォリアーズは現在の世界チャンピオンです。エベレスト山を初めて山頂まで登った人も日本もニュージーランドもワールドカップで活躍するといですね。

ニュージーランドのヒラリーさんでした。

また、小さい国でありながら意外にモータースポーツの世界に何人かすごい人を輩出しています。デニス・デーニー・ハルム、クリス・エイモンとブルース・マクラレンは昔カン・アムやF1で活躍していました。エイモンとマクラレンは1966年にル・マン24時間レースで優勝。デーニーは1967年のF1ワールド・チャンピオンになりました。エイモンは引退した後、トヨタ自動車ニュージーランドの顧問になった時期もあります。マクラレンは32歳の若さで亡くなりましたが、現在も活躍しているマクラレンF1レーシング・チームの創立者としてその魂は受け継がれています。現在インディ・カーで活躍しているスコット・ディクソは注目だと思っています。

今年もまたラグビーワールドカップがあります。予選で日本とニュージーランドが対戦しますが、もちろん私は日本を応援しますよ。